

学校だより

練馬区立小中一貫教育校

第127号



大泉桜学園

令和4年7月1日

発行者 校長 池田 和彦

sakuragakuen.nerima-tky.ed.jp/

「温故知新」

副校長 渡邊 貢治

本校には校名の由来となった桜の木が数多くあり、今の季節は深い緑で校庭を包み込んでいます。そして、正門と校舎の間には東西の校庭を貫く「桜ロード」と呼ばれている道があり、登下校時、児童生徒が毎日利用しています。桜ロードにも桜の木が2本あります。1本は正門を入ってすぐの藤棚を抜けたところにあり、植えてから数年しか経っていない若い木です。もう1本は開校十周年記念の石碑前にあるとても大きな桜の木です。地域の方の話によると、この木は本校が小中一貫教育校になる前の大泉学園桜小学校、大泉学園桜中学校が開校する以前、今から40数年前の雑木林にあった桜だということです。東西の校舎前で、今も昔も児童生徒を見守り、本校の歴史を見続けてきた桜です。実は、若い桜の木がある場所にも、かつて大泉桜学園のシンボルとも言える風格のある桜の大樹がありました。老朽化が進み、危険であるとのことで数年前に惜しまれながら伐採されましたが、この木の幹の一部が磨かれ、職員玄関正面にあるメモリアルルームに保管展示してあります。

本校の教育目標「桜学精神」の根幹には「命の教育」があります。本校の歴史を見守っている桜の木から、かけがえのない命について学べるということに感慨深いものを感じます。児童生徒にも命の尊さについて、そして、かけがえのない人生の一瞬一瞬を大切に作る生き方を考えさせたいと思います。

「温故知新（おんこちしん）」という言葉が「論語」にあります。訓読すると「故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知る」。意味は、「以前学んだことや昔の事柄をもう一度調べたり考えたりして、新たな道理や知識を探り当てること」です。

1学期もあと3週間ほどで終了しますが、新しい様式での生活の中、感染症予防でしばらく実施できなかった運動会や学校公開、道徳授業地区公開講座、移動教室などの行事を保護者や地域の皆様のご協力を得て、新しい形で行うことができました。2学期以降も「温故知新」の心構えで、大きな桜の木が見守ってくれたこれまでのよさを生かし、若い桜の木の成長とともに、教職員一同、協力して、これからの教育活動を作り進めていきたいと考えております。引き続き、本校教育活動へのご理解、ご協力、ご支援のほど何卒よろしくお願いいたします。

第3学年 ヤゴ救出大作戦

第3学年学年主任 飯田 洋子

6月13日は、3年生が待ちに待ったヤゴ救出大作戦が行われました。枯れ葉や泥などがたまり、自然の池のようになったプールに住むヤゴをたくさん救出することができました。

子供たちは最初、恐る恐るプールに入り、「どこにいるの？」と試行錯誤している様子でしたが、一人の子から「見つけたよ！」という声があがると、それからは次々とヤゴ



を捕まえられるようになっていきました。たくさん捕まえられた子もそうでない子もいましたが、今の時期しか経験できない活動を存分に楽しんでいるようでした。

これからは、教室で大切に育てていきます。「ヤゴのお世話をすること」「トンボになって自然界に帰る姿を見届けること」を通して、子供たちが「命」について学ぶ機会としていきたいです。

第5学年「レッツ！トライ！さくら米」大泉桜の里での米作りがスタート

第5学年担任 北條 静香

5年生は、命の教育の一環として、総合的な学習の時間に「レッツ・トライ・さくら米」と題し、米作りについての学習に取り組んでいます。5月には田起こし、6月には代かき、田植えと、一生懸命作業に取り組みました。

田起こしでは、よい土ができるように雑草を抜き、土を耕しました。その後、肥料をまきました。「初めは土が固かったけれど、耕したらふわふわになった。」「肥料として牛糞をまくのを初めて知った。」などの感想がありました。

代かきでは、水を張った田んぼに入り、とんぼやレーキで土の表面を平らにしました。転ばないように気を付けながら、「そこが高くなっているよ。」などと声をかけ合い、協力しながら作業に取り組むことができました。また、あぜ作りにも挑戦しました。田んぼのふちを泥で固めていく作業にとっても丁寧に取り組むことができました。



そして、いよいよ田植えの作業です。初めて行う子が多く、不安な様子も見られましたが、

さすが吸収の早い子供たち。回数を重ねるごとに素早く、まっすぐ植えられるようになっていきました。

「まだまだやりたい。」という子供の感想が多く聞かえてきました。すべて手作業で汗を流しながら、共に助け合って行う昔ながらの田植えを体験することができ、充実した様子でした。



第6学年 岩井移動教室

第6学年学年主任 下川 洋平

6月22日（水）から24日（金）までの3日間、岩井移動教室に行きました。昨年度は、実施することができず、子供たちにとって初めての移動教室となりました。より充実した移動教室になるように、一人一人が係の仕事を負い、それぞれに準備を進めてきました。

1日目の大房岬では、昼食およびグループごとの散策活動を行いました。海岸沿いに露になった地層の様子から自然の雄大さを感じることができました。また、夜のキャンプファイヤーでは、大きな火を囲んで盛り上がり、仲間との絆をより深めることができました。



2日目は、大山千枚田と鴨川シーワールドに行きました。グループでの活動にも慣れ、事前に話し合った見学の予定に基づき、それぞれのグループで班活動を行うことができました。午後には岩井海岸にてサンドアートに取り組みました。出されたお題に対して各グループ協力しての創作活動です。どのグループもオリジナリティのある楽しい作品が仕上がりました。

3日目には、お世話になったベルデ岩井をあとにし、お土産の購入に向かいました。家族や親せき、友達などにお土産を選んでいました。最後の訪問先であるマザー牧場では、広大な牧場の敷地を班ごとに計画したルートに従って見学しました。途中では、ソフトクリームを食べたり、様々な動物と触れ合ったりすることができ、たくさんの笑顔が見られました。



この移動教室中には、時間の過ごし方や友達との協力、郊外でのマナーなど、たくさんのことを学ぶことができました。この経験をこれからの学校生活でも生かし、卒業という節目に向かってより成長していけるようにしていきたいと思います。

移動教室に際し、様々ご理解・ご協力くださり、本当にありがとうございました。

道徳授業地区公開講座

進路学習部主任 黒岩 理

6月11日（土）に道徳授業地区公開講座を実施しました。それに伴い学校公開も行われ、久々に授業を参観された保護者の方も多かったのではないかと思います。また、6月6日から11日を「命の教育ウィーク」とし、各教科で「命」に関係のある分野・領域の学習を行いました。ご家庭でも身の回りの「命」について、親子で話を深める良い機会になるのではないのでしょうか。

各学年の取り組みは以下の通りです。どの学年も、自分や周囲にいる人の命について考えを深める時間となりました。

学年	題材	取り組み
1	ちいさなふとん	「自分が大きくなった」と感じる瞬間について考える。
2	がんばれアヌーラ	「命を大切にできる心」とはどのようなものか考える。
3	生きている仲間	「生きている仲間」とはどのようなものか考える。
4	生き物と機械	生きていることに焦点を当てて、命とは何かを考える。
5	命の詩 電池が切れるまで	「精一杯生きる」という生き方について考える。
6	命の旅	「ありがとう いただきます」という思いについて考える。
7	ひまわり	東日本大震災での経験から語り部となった方の思いについてグループで話し合う。
8	つながる命	臓器移植をテーマに「命とは何か、身近な誰かが脳死になったら何を考えるか」についてタブレットで意見交換する。
9	命と向き合う	生き物の特徴を踏まえて、「なぜ命は大切か、そのために何をどうすればよいか」について話し合う。



7月行事予定

新型コロナウイルス感染症に関連して今後も変更する可能性があります。
☆令和4年度より相談予約の専用携帯の番号が変わりました。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					安全指導	
3	4	5	6	7	8	9
	朝礼 セーフティ教室 (34)		オーケストラ鑑賞教室(8) 領域診断テスト(9)	避難訓練 委員会 たて割り班活動	漢検	土曜授業 イングリッシュキャンプ説明会(7)
10	11	12	13	14	15	16
	桜学朝会	盲導犬募金(始) 移動教室説明会(5)		盲導犬募金(終) クラブ		
17	18	19	20	21	22	23
	海の日	大掃除	1学期終業式	夏季学習補充教室(始) 小学部夏季水泳(始) 中学部三者面談(始)		
24	25	26	27	28	29	30
			夏季学習補充教室(終) 小学部夏季水泳(終)			
8/28	29	30	31	9/1	2	3
			8時40分リモート学活	第2学期始業式 安全指導 給食始	計測(6)	

教育相談場所

西校舎3階「相談室」

東校舎1階「あったまルーム」

☆中学部 スクールカウンセラー(上草)火曜日9:00~17:00 心のふれあい相談員(大内)木曜日9:00~17:00

☆小学部 スクールカウンセラー(中村)月曜日9:00~17:00 心のふれあい相談員(木村)火・木・金曜日9:00~14:00

相談予約は専用携帯へお願いします。小学部:080-7798-3201 中学部:080-7798-3336(5・6年生は中学部用でも可)